

富木医療器**DX**方針

～これからも地域医療のベストパートナーであり続けるために～

- 当社は地域に密着することで医療現場を支え、お客様の支持を得てきました
- 一方、医療分野でもデジタル化は様々な面で加速、急速に変化しています
- これからも地域医療に貢献していくために、当社においてもデジタル化による変革が不可欠と考えます



- まずはデータ化・デジタル化を進め事業を強靱化・効率化、その先にデジタル変革(DX)へと取り組んでいきます
- 「正常進化するためにDXが不可欠」というメッセージも込め、当社の経営理念をDXの観点で再解釈したDXビジョンを策定します

- ・ 当社の経営理念を再解釈し、以下のDXビジョンを策定します

経営理念



感謝のこころと誠意ある仕事で、
お客様の期待を超える



提供サービスの品質向上・医療
現場のDX貢献：**営業DX推進**



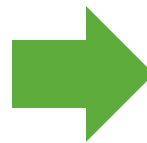
すべての社員が仕事を通じ、人として成長することで幸せを求める



DX観点での社員への成長機会
提供：**DX人材育成**

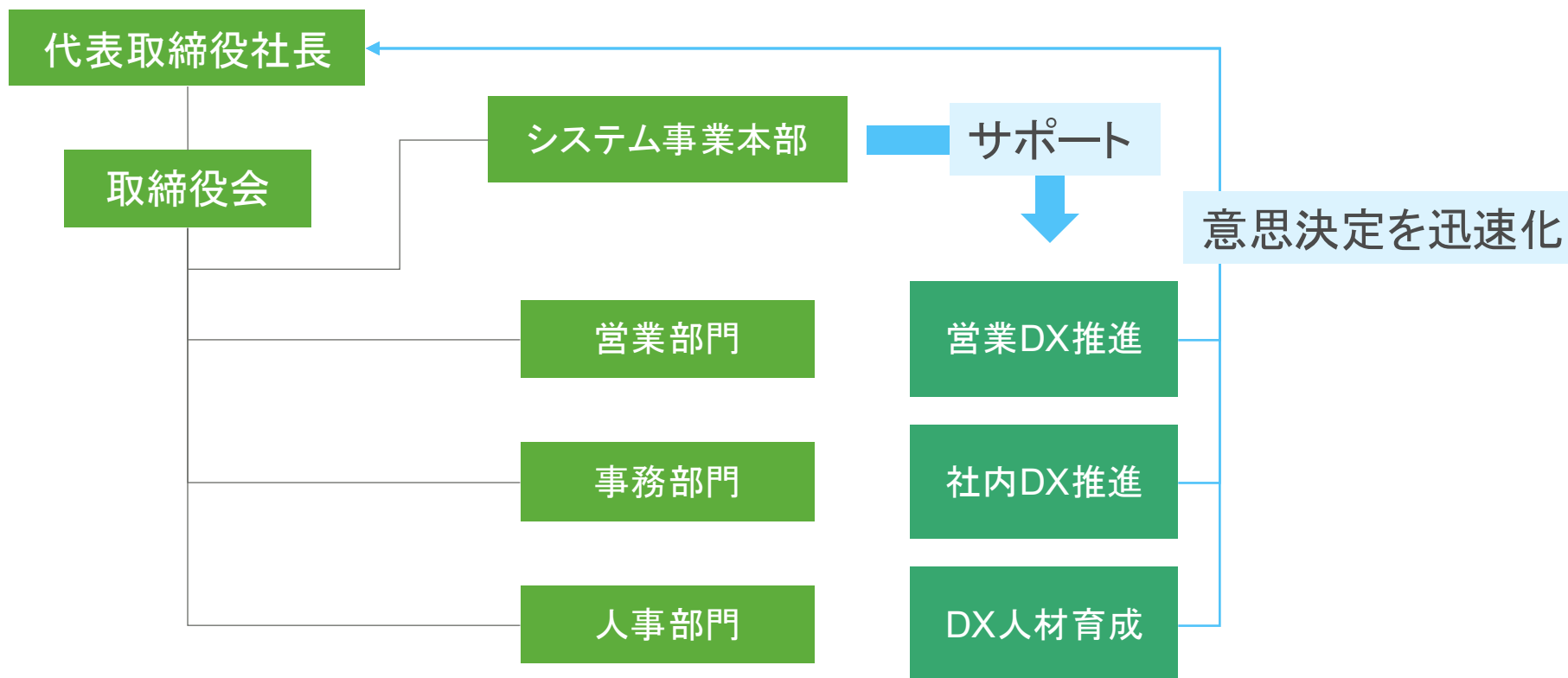


企業活動を通じて、地域医療に貢献し続ける文化を育てる



地域医療を持続的に支えていく
ための業務変革：**社内DX推進**

- 2022年よりDX推進部署としてシステム事業本部を立ち上げました
- 各取り組みについて、主管部署をシステム事業本部がサポートします
- 各進捗は社長報告とすることで、意思決定を迅速化します



・ビジョンの各柱について、以下のステップで段階的に推進します

	Step1: データ蓄積・標準化	Step2: データの利活用・効率化	Step3: デジタル変革・最適化
営業DX推進	SFAツールの導入・定着 による営業活動の定量化	定量データに基づいた品 質向上施策の立案・実行	データ知見を基にした新 規サービスの開発・提案
DX人材育成	DXへの意識醸成・行動 変化	内製開発や要件定義の 可能なDX人材を複数名 養成	継続的にDX人材を育成 可能な体制を構築
社内DX推進	各種管理パッケージシス テムの導入による標準化	システム間連携業務の改 善・効率化	業務全体の見直し・再編

各項目でステップ1:1年以内、ステップ2:2-3年内、ステップ3:4-5年以内に達成を念頭に推進します

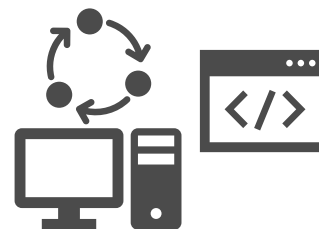
- 営業DX推進
 - ステップ1:営業活動の95%以上をSFAで管理
 - ステップ2:各営業部課の計画・施策はすべてSFAを利用して立案・進捗確認
 - ステップ3:SFA示唆をもとに、提供サービス見直しor新規サービス開発を5個以上実施
- DX人材育成
 - ステップ1:すべての社員がDX関連取り組みに関与する(システム利用者としても含む)
 - ステップ2:内製開発や要件定義の可能な社員を6名以上養成
 - ステップ3:継続的にDX人材を育成可能な体制・評価制度を構築
- 社内DX推進
 - ステップ1:複数部署の業務についてそれぞれ管理システムを導入・利用定着化
 - ステップ2:各システム間連携について複数のツール開発・運用で効率化が図られている
 - ステップ3:業務全体を俯瞰した再編案を構築・着手できている

グループウェア刷新・利用環境の整備



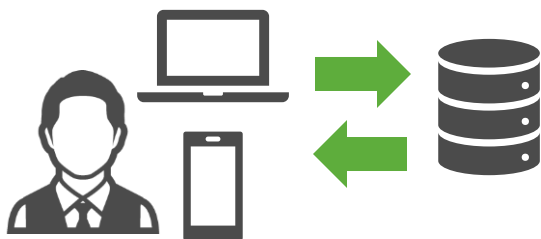
社外VPN環境・モバイルアクセスの整備

RPAによる業務効率化



有償版を導入、開発・運用を専任組織へ集約して展開を加速

SFAツールの導入



活動を一元管理し、情報共有や対応を迅速化

WEB受発注システムの展開

PHsmos



品名	メーカー	品名	単位	在庫	仕入	価格
マイグロブスター	18840-001	マイグロブスター	個	1	1	1
マイグロブスター	18840-001	マイグロブスター	個	1	1	1
マイグロブスター	18840-001	マイグロブスター	個	1	1	1
マイグロブスター	18840-001	マイグロブスター	個	1	1	1
マイグロブスター	18840-001	マイグロブスター	個	1	1	1
マイグロブスター	18840-001	マイグロブスター	個	1	1	1
マイグロブスター	18840-001	マイグロブスター	個	1	1	1
マイグロブスター	18840-001	マイグロブスター	個	1	1	1
マイグロブスター	18840-001	マイグロブスター	個	1	1	1
マイグロブスター	18840-001	マイグロブスター	個	1	1	1

電話・FAXから受注移管でミス削減・効率化

項目	主な実績
全社基盤	<ul style="list-style-type: none">✓ 全拠点での無線LAN環境構築✓ ファイルサーバーのクラウド移行✓ モバイルプリンタの活用✓ 人事関連システムの見直しと再構築
営業活動支援	<ul style="list-style-type: none">✓ WEB受発注システムの展開拡大✓ 業績速報集計&作成自動化✓ 症例報告効率化
事務効率化	<ul style="list-style-type: none">✓ 売上のまとめ計上自動化✓ 請求処理の効率化、発注業務の自動化
人材育成	<ul style="list-style-type: none">✓ 事務向けに各拠点でIT勉強会を実施

全社で年間計5,000時間以上の効果創出を実現

- 今年度の新たな取り組みにより318時間／月相当の効果創出を実現
- 年換算では3816時間となり、今期目標である3000時間／年を達成

テーマ	効果創出 (時間／年)	主な取り組み内容
1. 営業付帯業務の効率化・再編成	304	<ul style="list-style-type: none">• 売上報告フローの改善支援• 請求書作成フロー改善による営業社員作業削減• マスタ登録フロー改善による営業社員作業削減
2. デジタルツールによる業務最適化	3512	<ul style="list-style-type: none">• 受注／売上処理の自動(RPA)化拡大• マスタ登録／経理処理等の作業効率化• マスタレプリカ移管、社内クラウドポータルの利用拡大
3. デジタル活用人材の強化・育成	—	<ul style="list-style-type: none">• コーポレート職による部門・企画テーマ推進• 社内クラウドポータル上で進捗を公開、活動を定量化